

工学部学生による勉強の仕方が良くわかる

出前「受験・入試説明会」

1. 本事業実施に至った背景

最近発表された下表の岡山大学工学部の受験倍率が象徴的に示すように、全国的な理科離れが急速に進展するにつれて、岡山大学工学部への受験生も低落の一途をたどっている。この事態をこのまま静観するならば、数年後の近い将来、工学部存亡の危機が到来することも十分予想される。

本事業では、学長裁量経費 80 万円を用い次項の出前「受験・入試説明会」とアンケート調査を積極的に実施することで、短期的また長期的な受験生増加を図るものである。

学 科	前期			後期		
	募集人員	志願者数	倍率	募集人員	志願者数	倍率
機械工学科	52	94	1.8	10	52	5.2
物質応用化学科	35	50	1.4	13	56	4.3
電気電子工学科	39	123	3.2	6	105	17.5
情報工学科	39	46	1.2	9	39	4.3
生物機能工学科	55	112	2.0	10	81	8.1
システム工学科	50	101	2.0	8	37	4.6
通信ネットワーク工学科	30	62	2.1	5	29	5.8
計	300	588	2.0	61	399	6.5

2. 受験・入試説明会での実施要領（説明約 60 分，質問約 30 分）

- (1) 工学部の魅力ある教育内容の紹介(教員)
- (2) 大学生(院生)による 大学での勉強の仕方と大学生生活
- (3) 高校生からの質問
- (4) 高校生のアンケート調査(岡山大学工学部に対する意識調査)

3. 実施結果の中間報告

本事業では城東高校と一宮高校へ出前「受験・入試説明会」へ出かけた。本事業の目玉は「高校生へ大学院生から大学での勉強と生活を紹介」することで、岡山大学工学部に興味を持っていただくことである。これに関しては、後述のように、大成功であった。

- (1) 参加高校生：
城東高校 = 25 名(全員 2 年生)
一宮高校 = 29 名(1 年 = 13 名, 2 年 = 7 名, 3 年 = 9 名)
- (2) 高校生の反応と進路指導教諭の要望
 - ・ 両高校の進路指導教諭からこの出前「受験・入試説明会」は非常に参考になるので、是非 10 月までに再度実施していただきたいと要望された。(4 月以降も同様の事業を実施する予定)
 - ・ 学科の説明の中で「英語は重要ですよ」ということを強調することもあったが、高校教諭は理系生徒は英語苦手意識を感じているので強調の方法にも工夫が必要(アンケート結果を参照)
 - ・ 説明会において、高校生が一番興味を示したことは、大学院生による「工学部学生のある 1 日」という写真を使った説明であったようだ。大学院生が、「文系学生と理系学生の違い(生活, 進路, 就職)」、「理系学生の実情」というところを写真や表などで説明する方がインパクトを与えることができそうだ。

・ロボコンや学生フォーミュラのビデオを紹介したときは、高校生は身を乗り出すように見入っていた。動く映像で興味を引くことが重要と思われた。

・高校生および高校教諭は「理系は大変だ」「アルバイトする時間もない」と言った印象を強く持っている。誤解を解き、なおかつ就職の優位性などを印象付けるさらなる工夫が必要だ。

・説明会の最後に質問時間を設けたが、高校生からこの時間

にはほとんど質問は出なかった。しかし、アンケートを書いているときに、大学院生と大学教員が生徒たちの間を歩きながら、「質問はないかい」と問いかけると半数の生徒が質問した。特に、「(高校)数学の勉強の仕方はどうすればよいのですか」と大学院生へ真顔で尋ねてきたことでは、大学院生を連れて行った甲斐があった。



(3) アンケート結果(抜粋)

(英語教育に関するアンケート結果)

岡山大学工学部では英語教育を強化し、一部の学科ではTOEICスコア450点や400点を得て卒業することもできます。これは受験生にとって、魅力的ですか。

85%：魅力的である

15%：魅力的ではない 苦手意識,(大学によっては)2次で英語がない

(地元定員枠に関するアンケート結果)

岡山県内に在住の受験生を優先的に合格させる「地元定員枠」を新設するとした場合、あなたはどのように思いますか。岡山県内に在住のあなたにとって、魅力的ですか。

78%：魅力的である。

22%：魅力的ではない。

この結果から、受験倍率の低落に歯止めが掛からない現状では「地元定員枠」の実施を検討すべき時期かも知れないと判断

岡山大学工学部の魅力とは、具体的に何ですか

*ものづくり *就職率 *自分が興味のある分野の研究をしている *機械 *ロボットなどの技術 *工学部で取り扱うことが好き *就職先の多さ *実験等が大変そうだけど楽しそうな所 *力学の研究 *工学部は社会への技術提供がある *説明を聞いて自分の進みたい道に一番近づくことが出来ると思ったから *実用的な研究が出来ること *ロボット・宇宙 *機械が好きなので深くやってみたい *津島キャンパス *社会の役に立つことを研究している点 *人に役立つようなモノを作ること *生活の中の現象に目をむけていること

岡山大学工学部に「不足している魅力」は何だと思いますか

*生物より物理のほうが優先されていること *文系を引き込む力 *華やかさ *建物の新しさ

(詳細なアンケート結果をご希望の方は塚本真也へご連絡ください tukamoto@mech.okayama-u.ac.jp)

<予定> 3月6日(火) 倉敷南高校 15:40 ~ 17:00, 4月以降随時実施